

くらしの危険

Number

383

子どものボタン電池の

誤飲事故に注意！

－電池の放電によるアルカリで消化管が損傷－



コイン形リチウム電池やボタン形アルカリ電池などを誤飲した場合、電池の放電により作り出されたアルカリによって、食道や胃などの消化管を損傷（化学やけど）する危険性があり、過去には死亡事故も発生しています。

?

ボタン電池とは

高さが直径未満の円形の電池で、プラス（+）極やマイナス（-）極等の材料の組み合わせによって電圧が異なります。

電池の種類	記号	製品の例	電圧	使用機器の例	外観イメージ
コイン形リチウム電池	CR	CR2032 CR2025	3.0V	LEDライト、体温計、歩数計、 温湿度計、リモコン、 キーレスエントリー、腕時計	
酸化銀電池	SR	SR44	1.55V	腕時計	
ボタン形アルカリ電池	LR	LR44、LR41、 LR1130	1.5V	電子玩具、キッチンタイマ、 LEDライト、体温計、 防犯ブザー、小型ゲーム機	
空気電池（空気亜鉛電池）	PR	PR48、PR41	1.4V、1.45V	補聴器	



独立行政法人
国民生活センター

National Consumer Affairs Center of Japan



こんな事故が起きています

事例 1

自宅で子どもが突然泣き出し、本人がボタン電池を誤飲したと申告。近医受診しX線検査で胃内に異物が認められ当院受診。上部内視鏡検査で1.5cm大のボタン電池を認め、摘出した。絵を描くおもちゃの電池のふた（ネジ止めなし、パカッと外せるタイプ）が壊れて落ちており、しまっていたおもちゃ箱の中に電池だけ外れて落ちていたようだ。

（事故発生年月：2024年4月、5歳・男児）

事例 2

扇風機のリモコンのふたが開いていてコイン形リチウム電池（CR2025）がないことに気づいた。ふたはコインで開けるタイプでかなり固い。特に子どもに症状はなかったが、誤飲を疑い翌日に近医を受診、X線検査で陰影を認め救急搬送となり、全身麻酔下で内視鏡的異物摘出を行った。

（事故発生年月：2023年12月、1歳3カ月・男児）

🔍 ボタン電池を飲み込んでしまうと…

- ・ ボタン電池が体内で消化管に接触して消化液等の電解質に電気が流れると…
⇒電気分解によってアルカリ（タンパク質を溶かす性質がある物質）が作り出されタンパク質で構成された消化管壁が損傷（化学やけど）を受ける可能性があります。

鶏肉で確かめたところ…

生理食塩水に浸した鶏肉にボタン電池を接触させて接触部付近の損傷具合を確認しました。
⇒ 10分ほどでくぼみができるほどの損傷が！



⚠️ 消費者へのアドバイス

- ・ ボタン電池は：
 - ✓ 絶対に子どもの手が届くところに置かない
- ・ ボタン電池が使用された商品には：
 - ✓ 商品と電池の種類等を把握する
 - ✓ 子どもの手が届くところに放置しない
 - ✓ 落下しやすいところに設置しない
(落ちた衝撃で電池が飛び出すことがあります)
 - ✓ 電池収納部やふたに破損やねじ脱落などが無いことを確認する

**誤飲した（かもしれない）場合には
直ちに受診してください！**

※受診の際は、できれば誤飲した電池がわかるものを持参してください。
(同じ電池、パッケージ、使用されていた機器など)

